

神々の宿る島 インドネシア・バリ島

4月28日（金）城東公民館にて、国際理解出前講座を開催し、24名が参加しました。

講師は、インドネシア・バリ島出身の山口 ニ ワヤン リンプンさんです。インドネシアは1万3千以上の島からなり、2億7千万人が暮らしています。その一つバリ島は「神々の島」とも呼ばれ、ヒンドゥー教と土着の宗教が混ざり合った独特の伝統的な文化が息づいています。

まず、講座の前にバリ島の民族衣装の試着を楽しみました。みなさん、とても似合っていました。

その後、インドネシアの地理、果物、料理、お祭り、冠婚葬祭などについて実際に写真を見ながら、学ぶことができました。

また、インドネシア語とバリ語でのあいさつを講師といっしょに練習しました。

聴講者は、興味津々で、イスラム教やバリ島の観光名所、インドネシアの言語、移民について多くの質問が出ました。

日本人にとって、人気の海外旅行先の1つであるバリ島ですが、現地の人しか知らないような伝統や文化について聴くことができ、バリ島をより身近に感じることができる講座でした。

この講座が、世界に目を向け、海外の文化に興味を持ち、日本の文化についても改めて見なおす機会となることを願っています。

